

桜島における地磁気観測（1990年1月～1996年12月）

Geomagnetic Observation at Sakurajima (January 1990-December 1996)

気象庁 地磁気観測所
Kakioka Magnetic Observatory

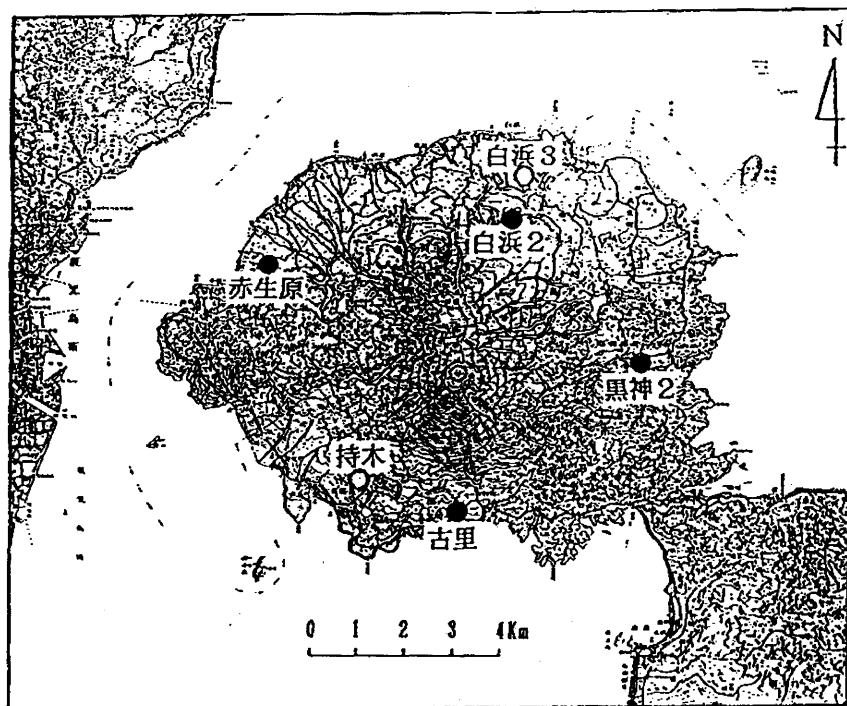
地磁気観測所（鹿屋）では、1978年5月から桜島の島内とその周辺で地磁気全磁力繰り返し観測および連続観測を行っている。これらの観測のうち、1995年12月までの観測結果については既に報告している¹⁾。今回は、1996年12月までの連続観測結果について報告する。

第1図に桜島における地磁気観測点の配置を示す。白丸（○）が連続観測点（持木、白浜3）、黒丸（●）は繰り返し観測点である。

第2図に、1990年1月から1996年12月までの持木と白浜3における連続観測の結果を示す。上から鹿屋の地磁気全磁力夜間値（00～02時）、持木、白浜3、鹿屋の各観測点の相互差、および爆発回数（JMAによる）である。同図持木-白浜3には年周期的な変化が見られる。

参考文献

- 1) 気象庁地磁気観測所（1995）：桜島における地磁気観測（1988年8月～1995年12月）、噴火予知連会報，64，70-71.



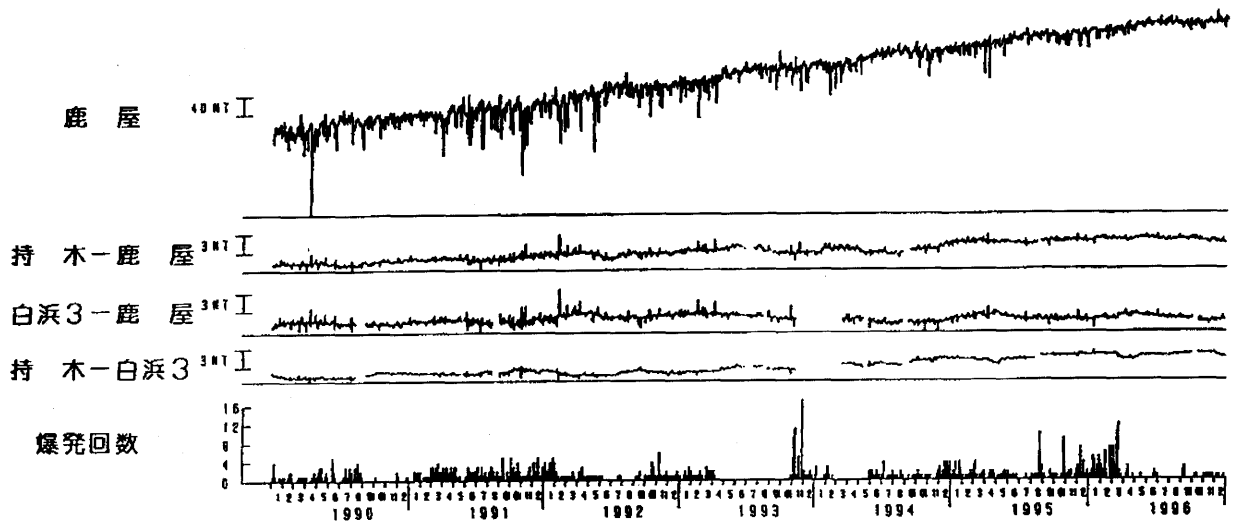
第1図 桜島島内での地磁気観測点の分布

Fig.1 The distribution of the observation points.

- 全磁力連続観測点
- 全磁力繰り返し観測点

- continuous observation point
- repeat observation point

* Received 10 Mar., 1997



第2図 鹿屋の地磁気全磁力夜間値、および地磁気全磁力夜間値の相互差（持木-鹿屋、白浜3-鹿屋、持木-白浜3）の日平均値変化、下段は日別爆発数。（1990年1月～1996年12月）

Fig. 2 The variation of the geomagnetic total force at the night-time at Kanoya. Secular variations in the differences in the daily means of the night-time geomagnetic total force intensity between (Mochiki and Kanoya), (Shirahama No.3 and Kanoya), and (Mochiki and Shirahama No.3). The lowest record shows the daily number of the eruption. (January 1990-December 1996).